

人間はみな未完成で死んでいき、完成などありえません。完成できると考えるのは人間の傲慢ごうまんです。

大勢の患者さんの死に立ち会ってきましたが、もつとも悲惨な思いをいただくのは、「私には未完成の仕事がある。今まだ死にたくはない」という人です。

働き盛りの年齢で、その仕事の九割が完成目前とします。そのときの患者さんの苦悩は計り知れないものでしょう。中途半端な気持ちで亡くなってゆく無念さをもつ若い人や中年の方がかなりおられます。

しかし、私は人間にはたして完成とか完璧とかということがあるのか、もつと高いところから見れば、いずれも未完成なのではないか、という思いがあります。たとえ

途中で挫折しても、「私の人生には意味があったし、意義があった。労多くして報われることは少なかったけれど、これで満足しておこう」と世を去ることができる人は幸福だと思えます。

それぞれの人が、人間にとって何が価値ある人生かということを見定める必要があります。

